

ほら、

このほんおもしろかったよ

2012^{ねん} 冬^{ふゆ}・えと号^{ごう}

読書活動推進標語

わくわく、どきどき。

だから、わたしは、ほんがすき

冬のほん

『いろいろばあ』（えほん）

新井洋行／作 えほんの杜

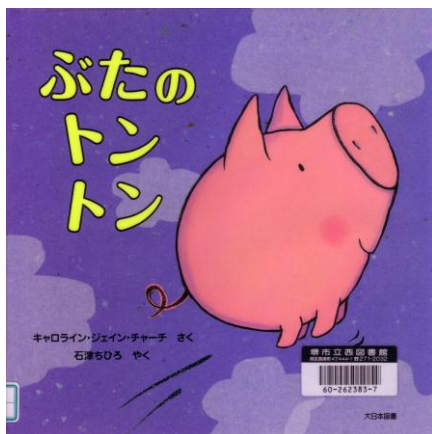
あか・あお・きいろがいろいろばあ！いろんなかたちででてくるよ。ふたつのいろがまざったら、どんないろになるのかな？あかちゃんにもおすすめですよ。



『ぶたのトントン』（えほん）

キャロライン・ジェイン・チャーチ／さく 大日本図書

トントンは ぶたですが、
れんしゅうすれば、いつか
は とべるようになると、し
んじています。でも、しっ
ばいばかり。そこで、りん
ごのきぼくじょうで いっ
しょにはたらくどうぶつた
ちは、トントンにすてきな
プレゼントをします。さあ、
トントンは、とべるようになるのでしょうか。



『びゅ〜んびよ〜ん』（えほん）

ふじわらこういち／しゃしん・ぶん
新日本出版社



バッタは どうやって と
ぶのかな？ カメレオンは
どうやって たべるのか
な？ いろいろな いきもの
たちの たのしい しゃしん
えほんです。

『ぺろぺろキャンディー』（えほん）

ルビナ・カーン／文 ソフィー・ブラッコール／絵 さ・え・ら書房



ルビーナは、ともだちのたんじょうかいによばれて、うれしくてたまりません。でも、いもうとのサナが「あたしもいく！」とさけんだので、つれていくことに…。サナはたんじょうかいをだいなしにした^{うえ}に、おみやげのキャンディーを、ルビーナの^{ぶん}まで^た食べてしまいました。

そのあと、ルビーナはしばらくたんじょうかいによばれませんでした。

そして、ある日^ひ、サナがたんじょうかいによばれました。その^{とき}ルビーナは…。

『おおきなわんぱくぼうや』（えほん）

ケビン・ホクス／作 ほるぷ出版

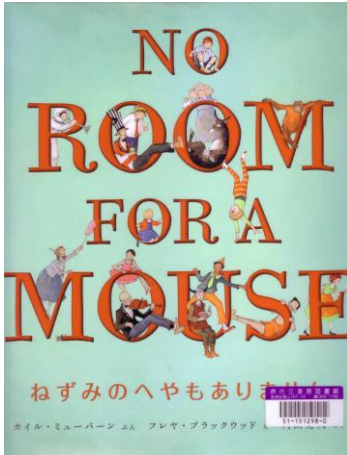
トディはおおゆきのひにうまれた。どえらくでっかった。おとなよりも、おうちよりも！そしてわんぱくだった。すくすくそだっていくトディにみんなふりまわされっぱなし！



『ねずみのへやもありません』（えほん）

カイル・ミュラー／ぶん フレヤ・ブラックウッド／え

岩崎書店



クリストファーは、おおきなおやしきに、おかあさんとねずみのスニーキーといっしょにくらしています。おかあさんは しごとでいつもいそがしく、クリストファーはいつもたいくつです。

ある日、公園でくらすおばあさんに「うちへおいでよ」と声をかけたのがきっかけで、ともだちのかぞくやらオーケストラやらサーカス団まで、クリストファーのおやしきでくらすことになりました。でも、おかあさんは、人がふえたのにも気付かなくて…。

『あかいくま』（よみもの）

中脇初枝／作 講談社

りかちゃんは、じぶんのことをあかいくまだとおもっています。ある日、おかあさんに、にんげんの子よといわれ、ほんとうかどうかたしかめに山へいきます。



『子ザルのみわちゃんとうり坊』^{ぼう}（よみもの）

深山さくら／文 佼成出版社

ふくちやましどうぶつえん 福知山市動物園へ ひきとられた子^こザルのみわちゃんと イノシシのうり坊。この二^にひきが なかよくなるまで^{はなし}をお話^{はなし}にしています。



『テッドがおばあちゃんを見つけた夜』（よみもの）

ペグ・ケレット／作 徳間書店



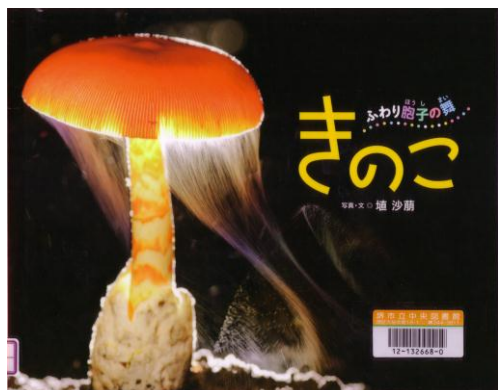
テッドは両親^{りやうしん}とアルツハイマー病^{びょう}のおばあちゃんと一緒に暮らしている。ある日テッドの家の近所で銀行強盗事件^{きんこうごうとうじけん}が起きる。その晩、テッドはおばあちゃんと二人で留守番^{ふたりるすばん}をすることになった。隣^{となり}の家のおじさんからペットの餌^{えさ}やりも頼^{たの}まれている。テッドとおばあちゃんが隣^{となり}の家に行った時^{とき}、物置^{もの置き}に銀行強盗そっくりの男^{おとこ}が！ その男はテッドをトラックに^の乗せて

走りだした。テッドは無事^{ぶじ}、逃^にげられるのか。

最初^{さいしよ}はハラハラするが、最後^{さいご}は心^{こころ}が温^{あた}まるお話^{はなし}。

『きのこ』 (474)

埴沙萌／写真・文 ポプラ社



あさ、はやいじかんだと
きのこから ふしぎなけむり
が でているのが みえるよ。
これは ぽうし 胞子。きのこの「た
ね」のようなものなんだって。

ステキな ころものそでを
のばしたような きのこたち
のすがたを たのしんでね。

『ねことライオン にてる？ にてない？』 (489)

ひさかたチャイルド

ねことライオン。すむところ
もおおきさもちがうけど、
あしのうらはとてもよくに
ている。はしりかたもにてい
るよ。でもしっぽは？ ぜんぜ
んにていないかも…。

ねことライオンが ^{じつぶつ}実物のお
おきさで、にているところ、にていないところがよくわかるよ。

ねことライオンをよくかんさつしてみよう！



『ヒトの親指はエライ！』（491）

山本省三／文 講談社



ほん ゆび なか おやゆび とくべつ
5本ある指の中で、親指は特別という
きがしませんか？

ほか 彼の指よりずっと大きくて、よく動く。
こんな親指をもっているのはヒトだけ
なんです。親指からはじまる進化論。

『はじめてのおさいほう』（593）

寺西恵里子／作 汐文社

おさいほうがはじめての人にも、糸
の切り方からせつめいしているの
で、わかりやすいです。かわいいシュ
シュやコースターが作れるので、手
作りにチャレンジしてみね。



ほかにもいろいろ

えほん

『おはなししましょう』

谷川俊太郎／ぶん 元永定正／え

福音館書店

『エロイーサと虫たち』

ハロ・ブイトラゴ／文 ラファエル・ジヨケンゲ／絵
さ・え・ら書房

『どうしてダブってみえちゃうの？』

ジョージ・エー・リヨン／文 リン・アヴァイル／絵
岩崎書店

『へちまのへーたろー』

二宮由紀子／作 ストウ・ウ／絵
教育画劇



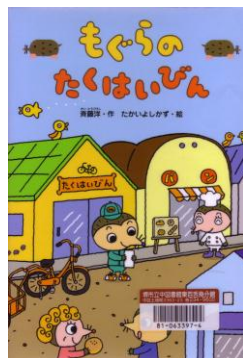
よみもの

『もぐらのたくはいびん』

斎藤洋／作 講談社

『真夜中のカカシデイズ』

宮下恵菜／作 学研教育出版



ちしきのほん

『危ない生き物大図鑑 身近にたくさんひそんでいる！』

(480) PHP研究所

『親子のための地震^{じしん}イツモノート』 (369)

地震イツモプロジェクト／編 ポプラ社

『できるまで大図鑑』 (500)

東京書籍

『砂上の船 水上の家』 (519)

会田法行／写真・文 ポプラ社